

名 称	期 日	期 間	会 場
障害種別研修	盲 11月13日(金)	1日	盲 盲学校 聾 聾学校 精A 猪苗代養護 精B 郡山養護安積分校 精C いわき 股 郡山養護 病 須賀川養護
	聾 11月25日(水)		
	精A 11月16日(月)		
	精B 11月24日(火)		
	精C 11月27日(金)		
学部別研修	小学部 9月28日(月)	1日	小 郡山養護 中 須賀川養護 高 会津養護
	中学部 9月29日(火)		
所属校研修	高等部 9月30日(水)	60日	各所属校
	病 11月26日(木)		

県立郡山養護学校 教諭 大 関 義 久
 (感覚障害教育を主としたコース)
 県立平養護学校 教諭 武 隈 恵 美
 ○言語障害教育コース
 いわき市立平第二小学校 教諭 鈴 木 敏 夫
 ○精神薄弱教育コース
 国見町立県北中学校 教諭 舟 山 正 博
 ○教育工学コース
 県立須賀川養護学校医大分校
 教諭 渡 邊 周 二

< 国立大学 >

- ① 宮城教育大学 1か年
 ○言語障害教育
 福島市立福島第四小学校 教諭 佐 藤 祝 子

(2) 教育研究グループ奨励事業

教育研究グループ奨励事業について、下記の1グループを決定し補助金を交付した。

研究グループ名	代表者勤務校	代 表 者 名	人数	研究主題
葵	県立会津養護学校	山 口 操	7人	重度・重複障害児の集団学習はどのようにあるべきか。授業内容の組織の仕方と子供への教師のかかわり方について

3 教育課程

(1) 養護教育改善対策会議

盲・聾・養護学校における社会参加・自立を促すための教育内容・方法の改善策について検討するため、養護教育改善対策会議を設置して研究を推進した。

対策会議を年2回、専門部会を年3回下表のとおり実施し、二年次の本年は「社会参加・自立を図る学習指導」をテーマに研究した。

回数	開催種別	期 日	会 場	内 容
1	対策会議	平成4年5月25日(月)	福 島 県 自治会館	○平成4年度の研究計画、研究テーマ及び内容、研究の方向づけについて検討。
2	専門部会	平成4年6月22日(月)	養護教育センター	○平成4年度の研究推進。研究テーマ及び内容、社会参加・自立を図るための学習指導上の課題について検討。
3	専門部会	平成4年10月12日(月)	養護教育センター	○事例の検討。 ○児童生徒の主体的な活動を促す学習指導等について協議。
4	専門部会	平成4年12月17日(月)	養護教育センター	○事例の再検討。 ○学習意欲や主体性について各学校の教育上の課題を事例を通して検討。
5	対策会議	平成5年1月25日(月)	福 島 県 自治会館	○具体的・体験的な活動を重視した学習指導について ○次年度の課題について検討。

養護教育改善対策会議委員11名、専門委員22名で組織し、研究報告書を作成、配布し活用を図った。(B5版66ページ800部)

(3) 養護教育担当教員長期・短期研修

< 福島県養護教育センター >

① 長期研修 1か年

○重複障害教育

県立郡山養護学校

教諭 根 本 峰 雄

○教育工学

県立聾学校

教諭 渡 邊 世 子

○情緒障害教育

郡山市立富田小学校

教諭 高 橋 正 美

< 国立特殊教育総合研究所 >

① 新任特殊教育諸学校校長・教頭講習会 5日

○精神薄弱教育分科会 教頭 渡 部 好 昭

○聴覚・言語障害教育分科会 教頭 和 田 隆

② 特殊教育センター等教育相談職員講習会 10日

○養護教育センター 指導主事 笹 川 二 郎

③ 長期研修 1か年

○重複障害教育研究部

県立西郷養護学校

教諭 小 檜 山 宗 浩

○視覚障害教育研究部

県立盲学校

教諭 小 野 祥 一 郎

④ 短期研修 3か月

○聴覚障害教育コース

県立聾学校福島分校

教諭 管 家 勝

〃

平分校

教諭 秋 元 昭 江

○重度・重複障害教育コース

(肢体不自由教育を主としたコース)